

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2070201385		
法人名	社会福祉法人 陽気会		
事業所名	グループホーム稲穂		
所在地	長野県松本市梓川梓2578-3		
自己評価作成日	令和7年1月23日	評価結果市町村受理日	令和 7年 3月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaiqokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2070201385-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和7年2月6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

梓川の田園の中に建つグループホーム稲穂。秋には辺り一面黄金色の稲穂に囲まれます。敷地内の畑の雪が溶けると肥料をまき田をおこして、苗を植えます。春のニラから始まり、きゅうり、トマトの夏野菜の収穫、お芋ほりができる方には、手伝ってもらいます。取ってきた野菜の下処理は皆さんに手伝って頂きどんなメニューがいいか話をします。利用者皆さんが、「認知症の人」ではなく「一人の人間として」それぞれの個性を生かし自主的な毎日を過ごしております。感染症が落ち着きコロナ禍で出来なくなったことが復活してきました。以前と全く同じようにはできませんが、出来ることや挑戦してみたい事など皆さんと一緒に挑戦していければと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

梓川地区の自然に囲まれ広々とした田園が広がる中に開設19年目を迎えた当ホームがある。法人理念を基にして、アットホームな雰囲気大切にすると共に、利用者個々の「想い」を受け止めて、「和気あいあい」と快適に暮らしていける様な支援に取り組んでいる。新型コロナの5類への移行を受け、少しずつコロナ前の生活に戻す活動を進めている。敷地内にある「ふれあいホール」を利用して、隣接する同法人のケアハウスとの交流を積極的に推進している。本ホールで、松商学園ブラスバンド部OBの演奏会や「フオークバンド」の演奏と歌をケアハウスの利用者と共に楽しんでいる。また、合同の運動会ではバン喰い競争や新聞紙を丸めての玉入れ等を楽しみ、合同の夏祭りでは近隣の子供さん達も招待して射的、ヨーヨー釣り、輪投げ等のゲームを楽しんでいる。併せて、毎月ケアハウスで行われている「編み物教室」にも参加して交流を深めている。毎日の日課として「ラジオ体操」「ゴボウ体操」を行うと共に、職員と共に歌を歌いながら「嚥下体操」を行って体力の維持にも努めている。また、週に2回、楽器演奏、歌のボランティアが来訪し、「サクセス」の演奏に合わせて、懐かしい歌を歌っている。更に、月1回元イタリアンレストランシェフの管理者による「パスタ」「ピザ」等の料理が利用者の大きな楽しみとなっている。柔らかな表情で歌を歌いながら寛ぐ利用者を拝見し、第2の我が家として安心して生活している様子が窺えた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印					
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と				
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと				
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと				
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない				
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように				
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度				
			3. たまにある				3. たまに				
			4. ほとんどない				4. ほとんどない				
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている				
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている				
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない				
			4. ほとんどいない				4. 全くいない				
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が				
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない				
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない				
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が				
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない				
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が								
			2. 利用者の2/3くらいが								
			3. 利用者の1/3くらいが								
			4. ほとんどいない								